

第 26 回山梨県介護老人保健施設大会抄録用紙

演 題	これからのレクリエーションについて
副 題	コロナ後のレクリエーションへの取り組み

フリガナ	カイゴロウジンホケンシセツ ケアセンターイチカワ
施 設 名	介護老人保健施設 ケアセンターいちかわ
フリガナ	カイゴフクシシ ヤマモト タツヤ
発表者(職名・氏名)	介護福祉士 山本 達矢
フリガナ	タカイシ アサミ、イチノセ ヒロミ、ヤマモト シュンスケ、 イノウエ スグル、ヒラヤマ ヒロアキ
共同研究者	高石麻実、一瀬ひろ美、山本俊資、 井上卓、平山浩晃

【はじめに】

当施設ではコロナウイルス集団感染(以後、クラスター)が2回発生している。今後、二度とクラスターを起ささないように施設内外の有識者と一緒に様々な予防対策を検討し実行してきた。その後、利用者様や職員からコロナウイルスが発生した場合であっても他者への感染は広がっていない。

レクリエーション(以後、レク)は職員や利用者様間が密なり、接触するため感染源となる可能性が高い活動と捉えている。クラスターが発生する以前は介護福祉士がレクリエーションを週4日(月、水、木、土)行ってきた。しかし、クラスター後はレクを実施していないため、利用者様から、「つまらない」「やることがない」「レクを行ってほしい」などの意見があがっていた。

クラスターから3か月が経過し、職員側からもそろそろレクをしたいという意見が出るものの、実施に至っていないことには何か理由があると考えた。その為、多職種に協力を依頼しチームを結成し、理由を考え解決に向けた取り組みを実施したため報告する。

【目的】

職員がレクを行えない理由を考え、解決し、再度レクが提供できるようになる。

【方法・結果】

レクの実施がなぜできないかの理由を現場にいる様々な職種、個人に聞くためアンケートを実施した。アンケートの集計から多くの方は、クラスター後レクが減った。レクの必要性を感じている。現状のレクの頻度に不満を感じていることがわかった。

またアンケートの自由記述からレクが行えていない理由は主に3つあることがわかった。多い物から①レクが再度感染を引き起こす原因になると考えている。②クラスターになる前と比べて環境が変わってしまい今までと同じレクが行えなくなった。③職員の人員不足。などがあげられた。

3つの理由について考えた。まず①に関しては、レクはクラスターの原因になる可能性が高い活動と認識していることから、以前より責任が伴う活動に変化しているのではないかと考えた。そのため実施前には感染等を避ける方法について話し合いなどを行い実施者に周知していく必要があると考えた。②に関しては、クラスター以前の施設の環境として、日中は各階関係なく1つの広い食堂に集まり、そのスペースを使いレクを行っていた。現在は完全に各階に分かれ小スペースにてレクを実施しなければいけないため、各階の環境に合わせたレクを行わないといけないう状態となっている。③に関しては、各階を完全に分けたことにより業務量が増え、レクを実施できる時間が無くなっていると考えた。

これらの解決に向けて、レクリエーション計画書の作成、レクの提供方法の検討、レクを実施しやすい時間の再検討等の取り組みを行った。その結果、現在はレクを行うことができるようになった。

【まとめ】

今回、レクを実施できなかった理由についてアンケートを用いて考えた。アンケートの作成、集計等には時間がかかったが、職員個々の思いからレクが実施できなかった理由が何なのか考えることができた。

クラスター発生時に利用者様や職員は心身共にかなりの負担が生じていたと思われる。その後、再度クラスターが発生したらと考えると、従来通り介護福祉士だけの判断でレクを実施しにくい状況であったと考えられる。

介護、看護、リハビリなど現場に関わる職種で感染防止対策を意識しながら、レクの場所、方法、時間等を検討したことで安心してレクを実施できる状況に繋がった。

今後はレクを継続していきながら、利用者様からの意見も取り入れていき、色々なレクを提供していきたい。